

みさごたより

Espressivo Part 9

文責：永野
No. 2

薩摩川内市立里小学校

校長せんせい 何ほ〜と空見てるんですか？ トシドン？

校歌に出てくる地名を訪ねて（その1：海編）
「そうだ！ミサゴに会いに行こう♪」

時々、ぼーっと空を見ている時、私の目線の先にはトシドンではなく鳥が飛んでいます。

「果たしてどっちだろう？」甌島に生息するとうわさに聞いていたまだ見ぬ鳥との出会いを、私は待ち望んでいたのです。

その鳥の名は



「ミサゴ」。この便りの名は、この鳥にちなんで名付けました。

← この子です♪

「ミサゴ」は、古くは日本全国で見られたのですが、基本、魚しか食べない鳥のため、海や湖沼が汚れて濁ってしまうと生活しにくくなり、次第に数を減らしてしまいました。そして今では、

じゅんぜつめつきぐしゆ

準絶滅危惧種

に指定されています。この甌島の海は、水が澄んでいる上、海が時化ても近くに、なまこ池や貝池がありますからミサゴにとっては、とっても過ごしやすいところのはずです。「きっと住んでるはず！」そう思っていました。せっかくですから、少し紹介しますね。

よく似た鳥には、トンビ（トビ）がいます。この子たち→

(学校上空をよくくるくる回ってます)

空高いところをくるくる翼をあまり動かさず飛んでいる姿は、大きさや姿がほぼ同じなため区別がつきにくいです。(だからぼーっと空を見ながら「どっち?」と観察してます)



見分け方は、トンビは全体が茶褐色なのに対し、ミサゴはお腹が側が白色です。それに、鳴き声♪ トンビが「ピーヒョロロ〜♪」と長いのに対し、ミサゴは「キュッ、キュッ、キュッ♪」と短めです。他に、鷹類と違うところは、急降下して海に飛び込み、魚を捕らえるため、

- 1 鼻の穴をふさぐことができる。
- 2 爪のかぎが発達している。
- 3 水切りのよい油分の強い羽を持つ

っている。等々

どうです？ “かっこいい” と思いは、この図→ のように、ぞうきんをうにして飛んでいくそうです。

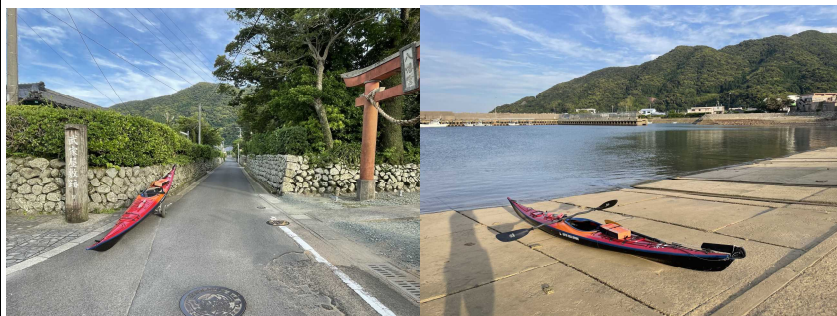


ませんか？ 大きな魚を捕まえたとき絞るようにして、魚の頭が前を向くよ

「見たいなあ〜 会いたいなあ〜」
てくる野島近辺でよく見るという情報

と想像していたところ、校歌の歌詞に出
を得ました。そこで、

「そうだ！ミサゴに会いに行こう♪」と思い立ち、全校集会でお話した通り、舟を組み立て行ってきました。



私の舟は、ご覧の通り漁師さんの舟のような立派な舟ではありません。

ですから、天気図を見て、「風を読む」それから潮の流れも調べる等、準備をします。そして、5/30(日)の朝方、犬の散歩のように、舟を台車にのせて武家屋敷通りを引っ張って港へ歩いていきました。すると…

(裏面へ 続く)



ケイダストアの前の電線に見慣れない鳥が1羽 ン？しかもお腹が白い まさかまさかの“ミサゴ” はっきりは分かりませんでした、海に出る前からテンションが上がりました。

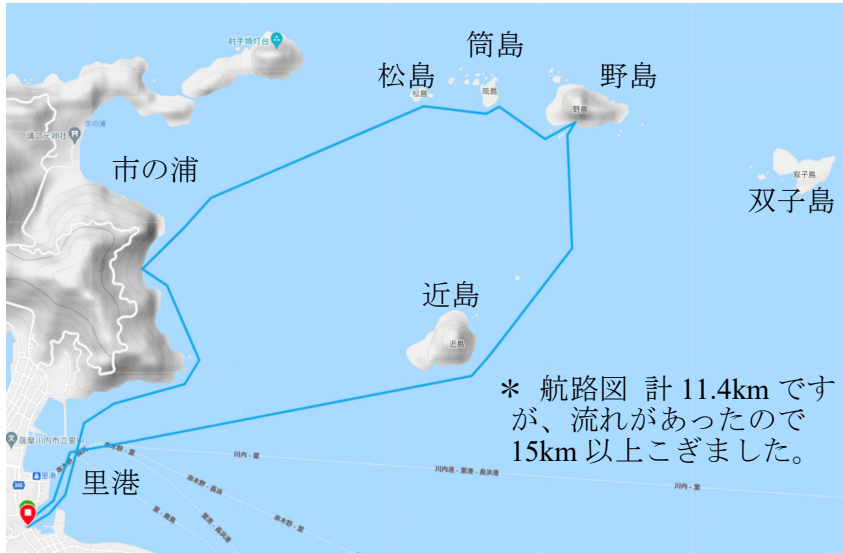
7:20 小学校の前の港よ
まずは**近島**を目指しました。
船に乗っている漁師さんに
目指すつもりでしたが…



り舟をこぎ出し、
近島で釣りをする人や
あいさつをし、**沖の島**を
想定以上に海がゆれて、



流れていたの、無理をせず**野島**にかじを切りました。野島に近づくと… いました！
数羽が上空を旋回しながら、優雅に飛んでいます。どうやら野島の頂き近辺に巣がある
ようでした。ただ、じっくりながめる余裕はなく（野島とその隣、筒島の間は、特に
流れがありました。潮止まりをねらっても自然はあなどれません）野島に上陸して、しばらく休憩
して、筒島、松島とめぐり、市の浦と里の港の間にあるビーチに上陸し、高速船とフェリーを見送
ってから、



きました。

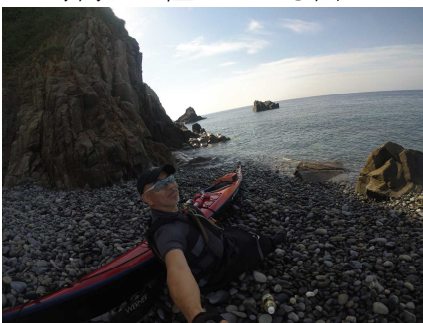
今回、ミサゴ
シーンは見るこ
でしたが、次回
いと思いまし

校歌 1 番に歌
野島、近島、沖
野島にとっての

ゆっくり帰って
が魚を捕らえる
とができません
の楽しみとした
た。
われている、
の島、そこは
楽園であり、

釣り人にとっても憩いの場（どの島の岩場にも釣り客が乗ってました）なのだと思います。
甌島の豊かな自然、いつまでも大切にしていきたいですね。

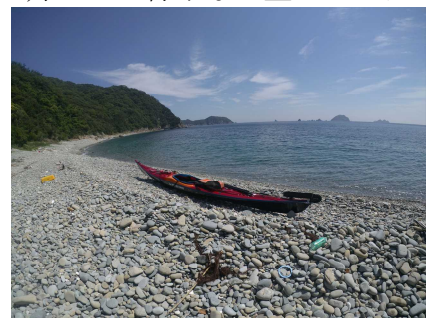
野島に上陸している図



野島を後に筒島へ



舟でしか行けない里のビーチ



今月の22日ふるさと・コミュニケーションの授業「里の魚から学ぼう」で魚の放流にでかけます。その時
漁船で野島の近くを通るかもしれませんから、みんなもミサゴをさがしてみてください。市の浦で
もよく見られるそうですよ♪

校歌に出てくる地名を訪ねて：海編 おわり 陸編あるの？

【保護者の皆様へ】

この便りは、低学年には難しいと思うので、ぜひ、一緒に読んでいろいろ伝えてくださいね。

